

論文

国語教科書掲載作を通して考える韓国における
外国児童文学受容の特徴とその変化
— 2015年改訂版(第7次教育課程)韓国初等学校国語
教科書と1995年改訂版(第6次教育課程)韓国国民学校
国語教科書を比較して —

A Study of the Characteristics and Changes in the
Acceptance of Foreign Children's Literature in Language
Textbooks at Korean Elementary Schools
—Comparison between the 2015 edition (7th curriculum)
Korean elementary school language textbook and the
1995 edition (6th curriculum) Korean national school
language textbook—

大竹聖美・池好順¹⁾

In the 1995 edition of the Korean National Language Textbook (the sixth educational curriculum), almost all of the 18 foreign children's literature works included in the textbook were either the 19th century world-famous fairy tales or classics. They were moralistic and exemplary in that they taught retribution, good and evil, self-sacrifice and love of neighbor.

In the 2015 revision of the Korean primary school language textbook (the 7th curriculum, current edition), 17 foreign children's literature works are included, which are unique modern children's literature works that respect individual dignity and diversity.

キーワード：韓国初等学校／翻訳児童文学／韓国児童文学／国語教科書／世界名作童話

1. はじめに

韓国児童文学研究の一環として、広く韓国国民に読まれている児童文学作品を知る目的で、一つのサンプルとして初等学校国語教科書掲載作品研究を行っているⁱ。韓国の初等学校国語教科書は、義務教育の国定教科書として一種類

だけが刊行されており、同年代の国民は全国一斉に同一テキストを読んでいるため、国民の文学経験に大変大きな影響を与えているからであるⁱⁱ。

また、国定教科書掲載作品というものが同時代の児童文化全般、民間の児童図書出版産業全

1) 大韓民国・漢陽大学校BK21FOUR研究員

般へ与える影響も大きい。端的にいうと教科書に掲載されているという理由で書店での書籍販売数や作品・作家に関する照会件数は大きく変化し、教科書掲載作品・作家に由来した企画出版、類書出版は活発になるからである。そのため、ある時代の教科書掲載作品を分析することで、その時代の韓国の児童図書出版文化の傾向を知ることができる。

本稿では、教科書掲載作品のなかでも、翻訳された外国作品を考察する。韓国作家による作品の採用傾向については先行研究ⁱⁱⁱで検討した。まず、先行研究と同じ教科書つまり現在流通している大韓民国第7次教育課程^{iv}（2015年改訂版）初等学校国語教科書（2020年印刷版）を調査し、次に、ひとつ前の教育課程である第6次教育課程国語教科書（1995年）に掲載された外国作品を比較のために整理した^v。現行の第7次教育課程（2015年改訂版）と、ひとつ前の第6次教育課程（1995年）には20年の開きがあり、韓国児童文学史の展開過程を考慮しても有意な比較となるだろうと予測したことと、1954年以降、1995年の第6次教育課程までは〈国民学校〉の時代であったため、1995年版教科書というのは、そうした旧体制の最後の教科書であり、この教科書と比較することは現在流通している〈初等学校〉（1997年の第7次教育課程以降の学校名称）教科書掲載作の特徴をより明確に把握することができると思ったからである。

2. 2015年改訂版、韓国初等学校国語教科書に掲載された外国作品

2021年現在、韓国の初等学校で使用されている国語教科書は、2015年に改訂された教育部国語科教育課程に準拠している。この2015年改訂版国語教科書に掲載されている著者名が明記された散文テキストは103編である^{vi}。そのうち外国作家の作品は17編（16.5%）である。内訳は、アイルランド、フランス、ドイツ、チュニジア、南アフリカ共和国、台湾の作家の

作品が各1編ずつ計6編、残り11編はすべて英語圏（イギリス1、アメリカ10）の作家によるものとなっている。これらの作品はすべて原作者と翻訳者が明記されたうえで韓国語に翻訳されて掲載されている。

学年別で外国作品の掲載数を見ると、1学年で1編、2学年で8編、3学年で5編、4学年から6学年は各年1編ずつの掲載となっており、すべての学年で外国作品に触れることになっているが、特に2、3学年で集中的に接するように配分されていることが分かる。

また、低学年の教科書に掲載された作品は主に絵本であるが、絵本の形態がほぼそのまま教科書に反映されているのは1学年の2学期に掲載されたアンソニー・ブラウンの『ぼくは本が好き』だけで、他の作品は挿絵や絵童話のように絵本の絵が再構成されて使われている。2015年改訂版国語教科書に掲載された17編の外国作品は、表1に整理した。

3. 1年生2学期、単元1「大切な本を紹介しましょう」—基本「いろいろな形の本を読む」

アンソニー・ブラウン『私は本が好き』（原書は図1参照）は、1年生の2学期の「大切な本を紹介しましょう」という単元で掲載されている。図2のように、絵本の見開きページがそのまま各ページに上下2段で掲載され、作品が全頁紹介された。



図1 Anthony Browne Walker Books Ltd; Newwed (2003/12/1)

内容は、「ぼくは本が好き」とはじまり、漫画の本も塗り絵の本も好き、分厚い本も薄い本も好き、恐竜の本も怪物が出てくる本ももちろん好き、宇宙の話も好きだし海賊が出てくる話も好き。歌の本やおかしな本だって好き、僕は本当に本が好き、というものだ。

表1 2015年改訂版・韓国初等学校国語教科書に掲載された外国作品

* 出版年度は原典の出版年度ではなく、教科書掲載作の底本となった韓国語翻訳版が韓国で出版された年

* 망은수「2015 초등학교『국어』 교과서에 수록된 서사문학작품 탐색」아동문학평론, 2019.12をもとに作成した。

	学期	ジャンル／テーマ	収録教科書	外国	作家	出版年度	教科書
1	1学年 2学期	絵本	ぼくは本が好き	イギリス	アンソニー・ブラウン	2017	国語
2	2学年 1学期	劣等感の克服	すごく怖い日	台湾	タン・ムーニウ（湯姆牛）	2014	国語
3	2学年 1学期	絵本	今日の気分は	アメリカ	エリエン・コーカ・レフラ	2015	国語
4	2学年 1学期	絵本	黒い子羊	アイルランド ドイツ	エリザベス・ショー	2006	国語
5	2学年 1学期	絵本	歯科医者 ドゥソト先生（日本語版：『蘭いしやのチュー先生』評論社、1991年）	アメリカ	ウィリアム・スタイグ	1995	国語
6	2学年 2学期	家族	クロクテレ家族	チュニジア フランス	パトリシア・ベルビー	2013	国語
7	2学年 2学期	やさしさ	カエルとヒキガエルは友達（日本語版：『ふたりはともだち』文化出版局、1972年）	アメリカ	アーノルド・ローベル	1996	国語活動
8	2学年 2学期	絵本	お母さんをちょっと見失いました（日本語版：『ちょっとだけまいご』BL出版、2012年）	アイルランド	クリス・ホートン	2014	国語活動
9	2学年 2学期	ジェンダーフリー	紙袋の王女様（日本語版『紙ぶくろの王女さま』カワイ出版、1999年）	アメリカ	ロバート・マンチ	1998	国語
10	3学年 1学期	創造性	リディアの庭（日本語版：『リディアのガーデニング』アスラン書房、1999年）	アメリカ	サラ・スチュアート	1998	国語活動
11	3学年 1学期	自由な思考	プリンドルください（日本語版『合言葉はプリンドル!』講談社、1999年）	アメリカ	アンドリュー・クレメント	2001	国語
12	3学年 2学期	個性尊重	巨人 ブベラとミミズの友達	アメリカ	ジョー・フリードマン	2016	国語
13	3学年 2学期	障害者	本当の透明人間	フランス	レミー・クルージョン	2015	国語
14	3学年 2学期	アフリカの昔話	大変な綱引き（日本語版『ノウサギのムトゥラ』岩波書店、2019年）	南アフリカ 共和国	ビヴァリー・ナイドゥー	2008	国語
15	4学年 2学期	人種差別	サラ、バスに乗る	アメリカ	ウィリアム・ミラー	2004	国語
16	5学年 2学期	個性尊重	尊敬します、先生	アメリカ	パトリシア・コラッポ	2015	国語
17	6学年 2学期	命の尊厳	シャーロットのくもの巣（日本語版『シャーロットのおくりもの』法政大学出版局。1973年／あすなろ書房、2001年）	アメリカ	E.B. ホワイト	2011	国語



図2 『国語』1年生・2(カ)、大韓民国教育部、2019年、PP.26～27

次のページをめくると、ジャバラの本やポップアップ絵本など多様な形態の本が写真で紹介され(図3)、さらにはそれらを話題に発表したり意見交換するアクティブラーニングや、教科書の巻末に付録として付いている図4や図5のようなプラスチックシートを使った昔話の影絵を体験させるように促されている。

1年生の国語教育の中で物語や文学の入り口としての本の多様性と魅力を示し、付録を活用しながら発表や意見交換を通して主体的な学びを経験させる意欲的な試みだといえる。



図3 『国語』1年生・2(カ)、大韓民国教育部、2019年、PP.28～29



図4 付録のシート

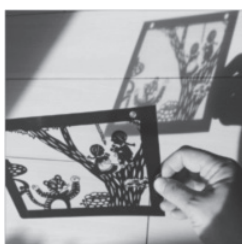


図5 影絵になる

4. 2年生1学期、単元11「想像の翼を広げましょう」—基本「人物の心にふさわしい声でお話を読む」

ウィリアム・スタイグの『歯いしゃのチュー先生』(図6:日本語版)は、2年生の1学期に「創造の翼を広げましょう」という単元で掲載された。本作品も原作は絵本であるが、教科書の中では絵は挿絵のように扱われている。ただし、韓国の国語教科書は横書きなので、英文が原書の絵本であっても絵を反転させる必要はない。その点では、日本の縦書き教科書のように、横書きの絵本を掲載する場合にページの進みが反対になるといった問題が発生しないため、絵本の教科書採用が活発になっているのかもしれない。



図6 『歯いしゃのチュー先生』ウィリアム・スタイグ 文・絵 うつみまお訳、評論社、1991年

この単元では、『歯いしゃのチュー先生』を絵本のイラスト付きで読ませたあと、物語のなかで起こる事件を時系列で説明させる状況把握や、登場人物の発する言葉や行動に注目させた心情把握をさせながら物語文の読解を学習させている。

具体的には、登場人物の心情にふさわしい声を考えさせ、さらに付録に付いているロールプレイ用の人物カード(図7)を児童の胸に掲示しながらグループワークを行うというアクティブラーニングをさせるのである。



図7 付録のロールプレイ用カード

5. 2年生2学期、単元4「人物の心を考える」
—「文章を読んで、登場人物に言いたい
言葉を書けるかどうか確認してみましょ
う」

2年生は、全学年の中で最も外国作品の掲載が多い学年となっている。1学期と2学期にそれぞれ4作品ずつ掲載されている。これらの8作品は、絵本、あるいは絵童話作品で、ビジュアルに表現された登場人物の表情や衣服や態度の助けを借りながら場面の状況や人物の心情を把握し、言葉や文章で表現することを学習する。

この心情把握の課題としては、上述したウィリアム・スタイク『菌いしゃのチュー先生』の他、アーノルド・ローベル『ふたりはともだち』（図8：韓国語版）が掲載されている。カエルとヒキガエルの心情を考えながら読んだ後、「カエルとヒキガエルの言葉と表情、行動を見て、例の中から言葉を選んでふさわしい文章を作って表現してみましょう。」という課題が示されている（図9右ページ）。



図9 『国語』2年生・2(カ)、大韓民国教育部、2019年、PP.32～33

6. 2年2学期、単元7「出来事が生じた順序
を見てみましょう」—実践「出来事が生
じた順序通りにストーリーを並べる」

2年生の「出来事が生じた順序を見る」という単元では、ロバート・マンチ『紙ぶくろの女王さま』（図10：原書）が掲載された。この作品は、日本では、加島葵の訳でカワイ出版から1999年に出版されている。

この作品は、ストーリーの順序で主人公の衣装が変化していくため、内容をよく把握して、図11のように主人公の衣装部分が空白になっているイラストに付録として教科書に別添されている女王の衣装シールを貼りつける作業を児童にさせる仕掛けになっている。

このようなアクティブラーニングの手法を国定教科書に取り入れたのは新しい試みであるが、手法の新しさだけでなく、この作品のテーマや主人公の思考と行動自体が新しい。従来の昔話や世界名作童話に出てくる王女様の型から大きく外れたジェンダーフリーの内容であり、1983年にアメリカで出版されたダイアナ・コールス『アーテ姫の冒険』に連なるフェミニズム作品である。



図10 Robert N. Munsch, Micheal Martchenko, Turtleback Books; Bound for Schools & Libraries版 (1999/10/1)



図11 『国語』2年生・2(ナ)、大韓民国教育部、2019年、PP.198～199

『アリーテ姫の冒険』は、日本では、1992年に学陽書房から絵本として出版され当時も話題となったし、2001年には本作を原作としたアニメーション作品も発表されているⁱⁱⁱ。さらには2018年には復刊までしているが、果たして日本の複数ある国語教科書の一冊にでも掲載されたことはあるだろうか。韓国の場合は一種類しかない国定教科書への掲載である。児童の行動規範への影響や価値観の形成という点で、古典的な世界名作童話からの脱却は大きな意味があり、新しい社会に向けた明確なメッセージを読み取ることができる。

7. 個性・人種・障がい・ジェンダー—— 多様な価値観と個の尊厳

3年生以降の教科書に掲載された作品は、さらにそのテーマ性に注目させられる。例えば、3年1学期に掲載されているサラ・スチュアート『リディアのガーデニング』（日本版、福本友美子訳、アスラン書房、1999年）（図12）は、1998年にコールデコット賞を受賞した作品で、



図12 サラ・スチュアート文、デイビッド・スモール絵、福本友美子訳、アスラン書房、1999年

韓国でも同年にいち早く翻訳出版され、推薦図書^{iv}に指定された作品だが、この作品は、大不況の暗い世相のなかでも持ち前のポジティブな思考と行動力で周囲の人を明るく幸せにする力を持った一人の少女のチャレンジが描かれている。画一的で受け身の思考

ではなく、創意工夫をして無から有を生み出していく。この少女像は、ロバート・マンチの『紙ぶくろの王女さま』に通じる未来を切り開く女性像である。

同じく3年1学期掲載のアンドリュー・クレメンツ『フレンドルください』（邦題『合言葉

はフレンドル！』田中奈津子訳、講談社、1999年）も自由な発想で新しい行動を起こしていくクリエイティブな少年の物語である。

3年2学期は3作品が掲載されており、ジョー・フリードマン『巨人ブベラとミミズの友達』は個性尊重、レミー・クルージョン『本当の透明人間』は視覚障がい者の話、ビヴァリー・ナイドゥー『大変な綱引き』（邦題『ノウサギのムトゥラ』さくまゆみこ訳、岩波書店、2019年）は南アフリカの昔話である。

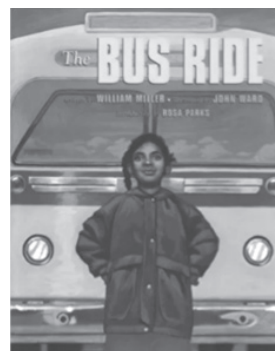


図13 The Bus Ride
William Miller
Lee & Low Books
(1998/7/1)

4年2学期のウィリアム・ミラー『サラ、バスに乗る』（図13：原書）は人種差別問題、5年2学期のパトリシア・コラッポ『尊敬します、先生』は個性尊重、そして最後の6年生2学期は演劇単元にE.B.ホワイト『シャーロットの贈り物』が大きく扱われている。本作品は、個性豊かな小動物の小さな命の尊厳と感受性がテーマである。

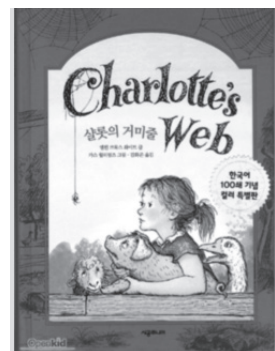


図14 『シャーロットのくもの巣』（韓国語版）
E.B.ホワイト作
キム・ファゴン訳、
時空ジュニア、
2011年

8. 2015年改定教育課程との関連

これらの韓国初等学校国語教科書で取り扱われている外国作品はどれも、ユニークな個性を認め、人種、障がい、ジェンダーを超えて、多様な価値観の尊重と多様な個の尊厳を訴える作品であった。では、どのような背景からこうした作品群が選択され掲載されたのだろうか。本

稿の考察対象は国定教科書である。教科書は、教育課程に準拠しているため、現行教科書の作成指針となる2015年改訂版教育課程指針を確認する必要がある。

日本の学習指導要領に該当する『初・中等学校教育課程 総論（別冊1）』（大韓民国教育部、2015年）には、「I. 教育課程構成の方向」[1. 追求する人間像][※]として次の項目が挙げられている。

- カ. 全人的成長をもとに、自我アイデンティティを確立して自分の進路との人生を開拓する自主的な人
- ナ. 基礎能力の土台の上に多様な発想と挑戦で、新しいものを創出する創意的な人
- タ. 文化的素養と多元的価値についての理解をもとに人類文化を享有して発展させる教養のある人
- ラ. 共同体意識を持って世界と疏通する民主市民として思いやりや分かち合いを実践するとともに生きる人（拙訳）

つまり、「自主的な人間」「創造的な人間」「多元的価値に理解ある教養ある人間」「共同体

意識のある思いやりや分かち合いを実践できる民主市民」である。

結局、このような人間像や価値観を提示している作品が選ばれていると言って良いだろう。まさに、『リディアのガーデニング』や『シャーロットのおくりもの』などには、自主的で、創造的で、多文化共生の姿勢を体現する登場人物たちが生き生きと描かれている。

9. 第6次教育課程国語教科書（1995年）に掲載された外国作品

最後に、比較のために、ひとつ前の教育課程であり、＜国民学校＞時代の最後の教育課程である第6次教育課程の国語教科書掲載作を見てみたい。

1999年に書かれた論文（ドゥ・オクシン「童話の教材受容の様相研究—小学校国語教科書収録分を中心に—」Seoul; 延世大学校教育大学院国語教育専攻碩士（修士）学位論文、1999年2月）[※]をもとに、1995年に刊行された第6次教育課程国語教科書に掲載された外国作品を調べると、寓話や韓国の昔話群が57%を占めており、続いて韓国国内の創作児童文学作品が33%。残る10%（18作品）が外国作品であっ

表2 第6次教育課程国語教科書（1995年）に掲載された児童文学作品のジャンル別掲載数

※ 두옥신 「동화의 교재 수용 양상 연구—초등학교 국어교과서 수록분을 중심으로—」 연세대학교 교육대학원 국어교육 전공 석사학위 취득 논문, 1999.2.をもとに作成した

	寓話	韓国童話		外国童話	韓国作品の合計	韓国作品の学年別掲載数の比率
		伝来	創作			
1年生	3	7	4	0	14	8%
2年生	2	12	10	0	24	14%
3年生	5	19	11	4	39	22%
4年生	3	15	11	10	39	22%
5年生	3	11	11	2	27	15%
6年生	1	19	11	2	33	19%
合計	17	83	58	18	176	
比率	10%	47%	33%	10%		100%

た(表2参照)。

さらに、18の外国作品を調べると、表3に整理した通り、グリム(白雪姫、ブレーメンの音楽隊)やアンデルセン(白鳥の王子)の他、ワイルド(幸福な王子)、シュペリ(アルプスの少女)、ドーデ(最後の授業)、トウェイン(トムソーヤーの冒険)などの19世紀の世界名作ばかりであった。シェイクスピア(ベニスの商人)、スウィフト(ガリバー旅行記)などの古典の他、ユダヤ人の聖典であるタルムードから二編の物語が掲載されているのも特徴的である。

比較的新しい作品では、サン＝テグジュペリの『星の王子さま』(原典: The Little Prince 初版出版1943年、アメリカ)、シェル・シルヴァスタインの『大きな木(韓国語では「惜しみな

く与える木(아낌없이 주는 나무)』(The Giving Tree, 初版出版1964年、アメリカ)があるが、いずれも『幸せな王子』に連なる象徴的な童話作品である。

このように、ひとつ前といえども20年前の第6次教育課程では、現在のような社会参与的な新しい人間像が示された創作児童文学ではなく、世界名作系列の童話や寓話、昔話で占められていたのである。1995年教科書は<国民学校>時代の最後の教科書であるから、国民教育と世界名作・寓話・昔話の関連性を指摘することもできるだろう。

10. おわりに

1995年改訂版(第6次教育課程・最後の国民

表3 第6次教育課程国語教科書(1995年)に掲載された外国作品

* 두옥신 「동화의 교재 수용 양상 연구-초등학교 국어교과서 수록분을 중심으로-」 연세대학교 교육대학원 국어교육 전공 석사학위 취득 논문, 1999.2.をもとに作成した。

* (作者・出典)は筆者注

3年生	4	白雪姫(グリム)
		白雪姫と七人の小人(グリム)
		ガリバー旅行記(ジョナサン・スウィフト)
		アルプスの少女(ヨハンナ・シュペリ)
4年生	10	ベニスの商人(ウィリアム・シェイクスピア)
		ブレーメンの音楽隊(脚本)(グリム)
		天邪鬼な子ども(アフリカ民譚)
		たんぼぼ村(外国の伝説)
		汽車での出来事(タルムード)*
		美しい戦い(タルムード)
		白鳥の王子(アンデルセン)
		大きな木(シェル・シルヴァスタイン)
		真の友(グリム)
三つの願い(外国の昔話)		
5年生	2	幸福な王子(オスカー・ワイルド)
		星の王子様(サン＝テグジュペリ)
6年生	2	トムソーヤーの冒険(マーク・トウェイン)
		最後の授業(アルフォンス・ドーデ)
*タルムード:ユダヤ教の聖典(筆者注)		

学校時代の教科書)では、掲載された外国童話18作品のほぼすべてが19世紀の世界名作童話か古典作品となっており、因果応報や勧善懲悪、自己犠牲や隣人愛が説かれた道徳的、模範的な内容であった。

2015年改訂版(第7次教育課程・現行版)に掲載された外国作品17作品は、『初・中等学校教育課程 総論(別冊1)』(大韓民国教育部、2015年)「I. 教育課程構成の方向」「1. 追求する人間像」に明記されたく自主的で創造的で多元的価値を理解するような教養があり、共同体意識のもとに思いやりや分かち合いを實踐できる民主市民像に合致するようなテーマ性際立つ個性的な作品群であった。

その他、1995年改定版と2015年改定版を比較して大きく異なる点は、1995年改定版ではどの作品にも一切作者名が記載されていなかったのが、2015年改定版では作者名ばかりか翻訳者名、底本を出版した出版社名、出版年まで明記されるようになった点である。これは著作権に関する認識が90年代とは明らかに変化したことを示している。1995年改定版では翻訳者名はもちろんのこと、原著者名すら明記されず、作品そのものも自由に改編されている場合が多かった。厳密に何年の教科書から著作権が意識されるようになったのかは現段階では調査できていないが、少なくとも今回比較した1995年改定版と2015年改定版の違いは明らかである。

韓国児童文学史の観点からみると、1995年は『ソリちゃんのチュソク』^{xi}、『マンヒのいえ』^{xii}、『おいしいよ! はじめて つくる かんこくりょうり』^{xiii}などが刊行され、現代韓国絵本出版が本格的にスタートした年といえる^{xiv}が、1987年に民主化宣言がなされた後、88年のソウルオリンピックを経てようやく文民政権(金泳三大統領・1993～1998年)にバトンタッチしたばかりであり、現代児童文学への過渡期であった。しかも、小学校の名称はまだ国民学校の時代である。その後、1997年には現在と同じ初等学校に名称が変更され、1998年には革新政

権であり国民の政権といわれた金大中大統領(1998～2003年)の政権に切り替わり、時代は大きく転換していったのである。

このように、時代が大きく変わる直前期の1995年改訂版教科書は、最後の国民学校教科書であり旧体制下で子どもたちに読ませようとした児童文学を知る有意な資料である。その後の金大中の<国民の政権>時代や、続く盧武鉉大統領(2003～2008年)の<参与の政権>時代へと革新政権は継承され、この時期に韓国の児童文学や絵本は大きく変化し世界的に注目される水準へと大きく発展した^{xv}。

こうした社会的背景の推移を経て、現在使用されている2015年改訂版初等学校国語教科書に掲載されている外国作品は、90年代に見られたような作者名が明記されない19世紀的な世界名作童話の世界から、作者名も翻訳者名も明記された現代児童文学の個性的な作品世界へと大胆に切り替わった。個の尊厳と多様性を尊重した共生社会に向かう過程で衝突する様々な現代的課題への対応力が問われているのだろう。

*本稿は、日本児童文学学会「第60回研究大会」、ラウンドテーブル「東アジアの小学校国語教科書における翻訳児童」(大阪府立中央図書館、2021年11月21日)にて口頭発表した「韓国の国語教科書における翻訳児童文学」をもとに執筆した。

*研費研究(20K00522)「東アジア 児童文学史の構築をめざして—出発としての国語教科書掲載作の検証」の研究分担者としての研究成果の一部である。

参考文献

<日本語>

- ・石川裕之「韓国における国家カリキュラムの構成と教育目的—初等教育段階に注目して—」『畿央大学紀要』14巻、2017年6月
- ・大竹聖美『『ソリちゃんのチュソク』—美的伝統の継承と固有の文化の探求』『絵を読み解

- く 絵本入門』ミネルヴァ書房、2018年
- ・大竹聖美・池好順「現代韓国児童文学の特徴：韓国初等学校国語教科書掲載作品を通して考える」東京純心大学『東京純心大学紀要現代文化学部』25号、2021年3月
- ・山本美知枝「日韓小学校国語教科書を比較して」(『国語教育論叢』21巻、島根大学教育学部国文学会、2012年3月)

<韓国語>

- ・大韓民国教育部『初等学校 国語』教科書、1年～6年、全24冊、2019年刊行(2015年改訂教育課程版)
- ・NCIC 국가교육과정 정보센터(大韓民国国家教育課程情報センター)：www.ncic.re.kr
- ・두옥신「동화의 교재 수용 양상 연구－초등학교 국어교과서 수록분을 중심으로－」연세대학교 교육대학원 국어교육 전공 석사학위 취득 논문, 1999.2.
(ドゥ・オクシン「童話の教材受容の様相研究－小学校国語教科書収録分を中心に－」延世大学学校教育大学院国語教育専攻碩士(修士)学位論文、1999年2月)
- ・방은수「2015 초등학교『국어』교과서에 수록된 서사문학작품 탐색」아동문학평론, 2019.12
(方銀洙「2015初等学校『国語』教科書に収録された叙事文学作品探索」『児童文学評論』173号、2019年12月)

i 先行研究に次のものがある。
大竹聖美・池好順「現代韓国児童文学の特徴：韓国初等学校国語教科書掲載作品を通して考える」東京純心大学『東京純心大学紀要現代文化学部』25号、2021年3月

ii 石川裕之「韓国における国家カリキュラムの構成と教育目的－初等教育段階に注目して－」『畿央大学紀要』14巻、2017年6月
2002年発行の第7次教育課程韓国初等学校

国語教科書を対象として、日本の国語教科書と比較した研究に、山本美知枝「日韓小学校国語教科書を比較して」(『国語教育論叢』21巻、島根大学教育学部国文学会、2012年3月)がある。

iii 大竹・池前掲論文

iv 1945年以降の教育課程の変遷は次の通り。
①1945年教育課程、②1955年第一次教育課程、③1963・69年第二次教育課程、④1973・79年第三次教育課程、⑤1981年第四次教育課程、⑥1987年第五次教育課程、⑦1992・95年第六次教育課程、⑧1997・2004・2006年第七次教育課程、⑨2007改定、⑩2009改定、⑪2015改定、以上11種類(NCIC 국가교육과정 정보센터(大韓民国国家教育課程情報センター))

v 2002年発行の第7次教育課程韓国初等学校国語教科書を対象として日本の国語教科書と比較した研究に、山本美知枝「日韓小学校国語教科書を比較して」(『国語教育論叢』21巻、島根大学教育学部国文学会、2012年3月)がある。この中で、金京姫(1999)による第6次教育課程国語教科書の分析結果を参照しながら、第6次教育課程国語教科書に掲載された外国作品の概略とその特徴について触れている。

vi 방은수「2015 초등학교『국어』교과서에 수록된 서사문학작품 탐색」아동문학평론, 2019.12

vii 片瀨須直監督『アリーテ姫』STUDIO 4℃制作、2001年

viii オリニ図書研究会推奨図書

ix 教育部告示第2015-74号[別冊1]『初・中等学校 教育課程 総論(別冊1)』(大韓民国教育部總理兼教育部長官、2015年9月23日)(NCIC 국가교육과정 정보센터(大韓民国国家教育課程情報センター)：www.ncic.re.kr)
以下、「教育課程の構成の方向」(原文韓国語)を訳出する。

1. 追求する人間像

わが国の教育は弘益人間の理念の下、全ての国民をして人格を陶冶し自主的生活能力と民主市民として必要な資質を涵養することにより人間らしい暮らしを営むようにし、民主国家の発展と人類共栄の理想を実現することに貢献することを目的としている。

このような教育理念や教育目的を踏まえ、この教育課程が追求する人間像は次のようだ。（カ．～ラ．：本文中に記載したので省略）

この教育課程が追求する人間像を具現するため、教科教育を含めた学校教育の全課程を通じて重点的に育もうとする核心力量は次のようだ。

カ． 自己アイデンティティと自信を持って自分の生活と進路に必要な基礎能力と資質を備えて自己主導的に生きられる自己管理力量

ナ． 問題を合理的に解決するため、多様な領域の知識と情報を処理し活用することができる知識情報処理力量

タ． 幅広い基礎知識を基に、多様な専門分野の知識、技術、経験を融合的に活用して新しいものを創出する創意的な思考の力量

ラ． 人間に対する共感的理解と文化的感受性をもとに、生の意味と価値を発見し、享有する審美的感性の力量

マ． 多様な状況で、自分の考えや感情を効果的に表現したり、他人の意見を傾聴し、尊重する意思疎通の力量

バ． 地域・国家・世界共同体の構成員に要求される価値と態度を持って共同体の発展に積極的に参与する共同体の力量（拙訳）

x 두옥신 「동화의 교재 수용 양상 연구-초등학교 국어교과서 수록분을 중심으로-」 연세대학교 교육대학원 국어교육 전공 석사학위 취득 논문, 1999. 2.

xi イ・オクベ『ソリちゃんのチュソク』（日本

語版：みせけい訳、セーラー出版、2001年）

xii クォン・ユンドク『マンヒのいえ』（日本語版：みせけい訳、セーラー出版、1998年）

xiii ペ・ヨンヒ文、チョン・ユジョン絵『おいしいよ！はじめて つくる かんこくりょうり』（日本語版：かみやにじ訳、福音館書店、2013年）

xiv 大竹聖美「『ソリちゃんのチュソク』—美的伝統の継承と固有の文化の探求」『絵を読み解く 絵本入門』ミネルヴァ書房、2018年、pp.212～217

xv 大竹・池前掲論文